

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あいりす		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20世帯	(回答者数) 19世帯
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が安心して、落ち着いて日々活動に入れるように環境の設定を行っている。	活動を行う建物が2棟あり、利用児童の年齢や体調、気分によって学習や活動に入る環境を選択できるようになっている。高学年の児童も低学年の児童と触れ合う機会の提供や一人で落ち着いて活動に入れるように環境の設定、支援員の人員配置を行っている。	これからも家庭や学校などと連携を取りながら、児童一人一人が「また行きたい」と思えるような環境の設定を心掛けていく。 高学年の児童と低学年の児童が同じ活動に入れるように様々な活動プログラムの提供を行っていく。
2	利用児童一人一人に合わせた年齢に応じた活動提供を行っている。	様々な年齢の児童が来所される中で、利用児童全体で入る活動だけではなく、年齢に応じた小集団での活動提供もっており利用児童一人一人が楽しみややりがいをもって日々の活動に入れるよう環境の設定を行っている。	今後も利用時間や活動スペースを個人個人に合わせた支援計画の作成を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者会があまり行っていない。	各児童の保護者の方とは送迎時や面談時に綿密な情報共有を行っているが、保護者会などで保護者同士のつながる場の提供などは出来ていない。	今後は各家庭との面談の中で父母の会や保護者会のニーズをうかがいながら小規模での開催を検討し、保護者の方に向けた研修の機会の提供等も行っていく。
2	児童クラブとの交流、地域イベントへの参加があまり行っていない。	事業所周りの近隣の方とのふれあい等は昨年に比べて多くなってはいるものの、地域のイベントなどは開催される日時が事業所閉所日と重なるため参加が出来ていない。武雄市での開催イベントなどには日時が合えば積極的に参加するようにはしている。	今後はイベントに合わせて閉所日の調整なども行いながら積極的に地域とのつながりを持てるようにしていく。
3	研修等の充実	2025年度は感染症や虐待防止、身体拘束、安全計画、各児童の支援計画など基本的な研修、会議しか行うことがなかった。また、協議会への参加も管理者のみの参加でもあったため、支援員の外部研修の機会が少なかったように思える。	基本的な研修のみではなく、日々の支援の充実のためにも研修や資格習得のための研修等も行い、今後もより一層支援員一人一人のスキルアップが目指せるような体制を整えていく。